

●事業所自己評価表 結果(職員数:10人)

		職員評価			工夫している点
		はい	どちらともい	いいえ	
・環境、体制整備					
1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	10	0	0	十分な広さの確保ができており、クールダウンなどで利用する場所の確保も行っています。
2	職員の配置数は適切であるか	10	0	0	よりきめ細やかな支援を提供するため、配置基準以上の人員を確認しています。また必要に応じて外部からの要請し支援を行うこともあります。
3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	10	0	0	施設全体としてはバリアフリー設計となっており、誰もが利用しやすい施設となっています。利用される方が感じる不便に関しては意見をいただき、修繕できるところについては修繕や工夫を行っています。
・業務改善					
4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	10	0	0	事業所内で出た意見はできることから実行に移し、事業内だけでなく、法人全体でも共有しています。
5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	10	0	0	年1回アンケートを行い、保護者の意見を把握し改善に努めています。
6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	9	1	0	法人のホームページで公開しています。
7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	0	10	第三者評価は行っていませんが、運営委員会で報告し、助言をいただき業務改善に努めています。
8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	10	0	0	オンライン研修等を活用し、すべての職員が年に2回以上研修に参加しています。

・適切な支援の提供

9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	10	0	0	保護者よりニーズの確認やアセスメントを行い、職員全体で個々の課題や目標を把握したうえで計画の作成を行っています。
10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	9	1	0	定期的に保護者から基本情報を加筆・修正してもらい、児童の現状に合った支援の提供に努めています。
11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	10	0	0	毎日職員間でミーティングを行い、その日の児童に合わせた活動を計画しています。
12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	10	0	0	利用児童一人ひとりの課題に沿ったプログラムを提供することを意識した制作、行事の立案を行っています。利用児童が毎日楽しんで活動や行事に参加できるよう、児童の意見を聞き、ワクワクするような活動を考えることもあります。
13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	10	0	0	利用時間の長い土曜日・長期休みにはチャレンジタイムという時間（お手伝いや児童同士でテーブルゲーム等の遊びを通して、人との関わり方を学ぶ時間等）を設けています。個々の課題については、記録に残して共有し、変化に合わせた課題の提供を行っています。
14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	10	0	0	個別と集団での活動のなかで学びが深められるような計画を作成し、その時の状況に合った活動の提供が行えるよう努めています。
15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	10	0	0	朝礼、支援開始前の2回、その日の支援の確認事項や役割分担について確認しています。
16	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	10	0	0	支援終了後の時間の確保が難しいため、日報を活用し、勤務時間が違う職員であっても支援内容や分担など細かなところまで伝達できるよう工夫しています。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	10	0	0	記録入力システムに記入し、共有が必要な情報や検証・改善事項に関しては日報に書き写し、職員で検討・改善に努めています。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	10	0	0	ケース会議を設けて、職員間で日頃の様子や計画の実施状況を確認しています。また保護者から定期的なモニタリングを行い、計画の見直しを行っています。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	10	0	0	基本活動のバランスを考え、活動を提供しています。

・関係機関や保護者との連携

20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	10	0	0	主に児童発達支援管理責任者が出席しています。
21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切におこなっているか	10	0	0	定期的に学校訪問等を行い、学校や利用中の様子を共有しています。
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0	3	7	医療的ケア児の受け入れは行っていません。主治医より助言があった場合は、保護者を通じて注意すべき点を確認しています。
23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	10	0	0	保育所等への訪問を行い、保育士や関係機関等と情報共有を行いました。
24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	10	0	0	基本情報やサポートシートを使い、必要な情報をスムーズに引き継げるよう工夫しています。
25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	10	0	0	直接的な関わりはありませんが、主治医からの助言を基に、支援を行うことができました。
26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会はあるか	0	1	9	地域の子供達と関わる機会は設けていませんが、スーパーへの買い物や散歩の行き来で地域の方に挨拶をしたり話しかけてもらう機会がありました。
27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	9	1	0	慮育支援部会に参加し、情報共有や課題の把握に努めています。
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	10	0	0	受け入れやお迎え時に、児童の様子について互いに伝え合い情報共有を行うとともに、利用時の様子を詳しく伝え、変化を共有しています。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	0	1	9	ペアレント・トレーニングは行っていませんが、児童への対応方法を職員が共通理解し、保護者から相談があった際は職員全員が伝えられるような力をつけていく必要があると考えています。

・保護者への説明責任等

30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明をおこなっているか	10	0	0	契約時や変更があった時等その都度説明を行っています。
31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	10	0	0	相談内容によっては職員間で情報共有し、早急に対応できるよう努め、相談員とも情報共有を行っています。事業所で行う支援のやり方のなかで家庭でもできる支援があれば、保護者にお伝えするようにしています。
32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6	3	1	今年度は、七夕会を開催し、家族同士の交流の場として提供できるよう計画しました。また、特別支援学校を利用している児童の父母方が、保護者会を行う時は会場の提供を行っています。
33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合は迅速かつ適切に対応しているか	10	0	0	苦情受付担当者や第三者委員を設置するとともに法人内部でも情報共有できるよう体制が整っています。
34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	10	0	0	年間行事予定、日々の活動の様子を「活動新聞」にして掲示し、大きな行事の前には放課後等デイサービス事業所専用LINEで情報発信を行いました。
35	個人情報には十分注意しているか	10	0	0	個人が特定できる情報に関しては、必ず保護者に同意を得ています。
36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	10	0	0	相手に合わせた伝わりやすいツールを選び、情報伝達のための配慮を行っています。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	9	1	0	燕市障がい者地域生支援センター「はばたき」全体の行事を通して、放課後等デイサービスの活動を周知する場を年1回設けています。

・非常時等の対応

38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	10	0	0	訓練を通して見直しを行っています。また、保護者からは「どちらともいえない」の回答を多くいただきました。冊子にまとめる等周知に努めます。
39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	10	0	0	定期的に避難訓練を実施し、救命救急や不審者対応訓練を行っています。
40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	10	0	0	外部講師による研修に参加し、虐待防止について理解を深めました。また、令和4年3月、法人内に虐待防止委員会が設置されました。適正な対応ができるよう努めます。
41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	9	0	1	身体拘束については十分注意して支援にあたっています。環境調整を行い、穏やかに過ごせるよう配慮を行っています。また、令和4年8月、法人内に身体拘束適正化委員会が設置されました。適正な対応ができるよう努めます。
42	食物アレルギーのある子供について、医師の指示書に基づく対応がされているか	9	0	1	保護者の情報を基に、アレルギー対応を行っています。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	10	0	0	事故対策防止委員会を年3回開催し、事故防止に努めています。事業所内で情報共有や対応策を検討し、支援に生かすことで再発防止に努めています。

●事業所全体評価

・放課後等デイサービス事業所専用LINEでの情報発信を継続し、併せてHUG（はぐ）システムを上手く活用することで、日々の活動や非常災害に対する取り組み等の情報の周知に努めていきます。

・新型コロナウイルス感染予防により外出の機会を控えていたが、天気の良い日は散歩に出掛ける等、地域へ出向く機会を提供できるような活動を企画し、地域の人と関われる機会をつくっていきます。

以上を改善及び強化すべき点ととらえ、今後の運営に生かしてまいります。

放課後等デイサービス事業所はばたき